



自ら学び続ける子の育成(自学自習力)

進取

令和5年11月22日
金武小 第15号
校長 安慶田正人

十一月十六日から二日間、沖縄県内の小中学校校長が集まり、校長研究大会が開催されました。分科会での協議題として「自立して学ぶ児童の育成に向けた自学自習力の育成」が掲げられ、協議が展開されました。「自学自習」とは、児童が目標達成に向けて自分自身の現状を把握し、そのために必要な学習や訓練を計画し、自己調整しながら継続して取り組む学習のことです。

「授業で学んだことを、家庭学習に生かす」「家庭で学んだことを、授業に生かす」というような自学自習の学習サイクルを持つことがこれからの子供たちには大切なことです。

そのために、金武小学校では、児童主体の教育活動(縦割り班・クラブ・委員会・学級における係等)の展開を基軸として、様々な学校行事へも波及させています。同時に、授業において、児童が自分の力で課題や問題を解決する学びの方法を身につけさせることで、達成感や自己肯定感を高める授業改善に取り組んでいます。自ら学び続ける児童の育成は、学校と家庭が目標を明確にし協働を進めていかなければならない事です。今後ともご協力よろしくお願い致します。



金武町子ども議会へ

十一月十日(金)、金武町子ども議会へ金武小から、(宮野座一加さん、比嘉寧さん、宮野座小太郎さん、森山謙心さん)が参加しました。リハーサルから本番まで参加することによって、議会の進め方や意義を理解することができました。何よりも自分たちの住んでいる町のことをよりよくしていくこととする取り組みに参加し、経験したことは大きな宝物になりました。



キャリア教育：職業人講話(六年)

十一月九日(木)、キャリア教育(職業人講話)が六年生で行われました。福祉・IT・保育等異なる職種の前職講師三名を招いて、「仕事に対する向かい方」「自分がいかにしていること」等、様々な視点で、ユーモアを交えながら、児童へ語りかけていただきました。六年生にとって、これからの自分自身の生き方や考え方を学ぶよい機会となったことでしょう。



世界中の子供たちへ(衣服寄贈活動)

金武小児童会が、中川小児童会と協力して世界中の困っている子供たちへ衣服の寄贈を行うための活動を行いました。児童が自ら協力依頼文を作成し、保護者のみなさんへ呼びかけたくころ約十日間で、多くの衣服をいただきました。児童会から、世界中の子供たちへ役立つことを願って、ユニクロへ衣服を寄贈しました。協力いただきありがとうございました。



国際交流授業(三・四年)

国際理解教育の取組として、町内文化交流授業を、三・四年生で実施しました。金武町移民交流事業の関わりからフリスル・アルゼンチン・ペルーから金武町へ交流に来ているみなさんと他国の文化(国・生活の様子など)を学び合う機会でした。子ども達は、興味深く話に聞き入り、質問をしたりして交流していました。国際性豊かな人材の育成は教育の大きな目標です。子ども達に将来に夢を与える取組となりました。

